R6年度 敷島南小学校 校内研究 研究構想図

《学校教育目標》

豊かな人間性とたくましく生きぬく力を身につける子どもの育成

《めざす児童像》

☆心豊かで思いやりのある子ども

- ・ 互いの良さを認め合い、他との関わりの中で自分を高めていける子ども
- ・ 友だちを思いやる心をもつ子ども
- ・ 相手の立場や人の気持ちを考えて、行動し協力できる子ども

《研究主題》

子ども同士が認め合える学級づくり
～学習規律に基づく協働的な学びを通して～

《研究仮説》

よりよい学級づくりへの生活指導や取り組みに合わせて、「聴く」ことを中心とした学習規律に基づく協働的な学習を、授業改善・授業実践に取り入れることで、より子ども同士が認め合える学級が
つくられるのではないか。

学級づくりの要素

- ①実態把握 ②信頼関係の構築 ③人間関係の深化

学習指導の工夫

A 学習規律の確立

特に「聴く」ことの規律

B 生活指導と一体となる学習指導

- ・ 自己存在感の享受を促進する
- ・ 共感的な人間関係を育成する
- ・ 自己決定の場を提供する
- ・ 安全安心な居場所づくりに配慮

C 協働的な学びの促進

伝え合う活動を中心として、子どもが他者と
関わる学び

D 学級づくりに関わる学習内容の選択

特に道徳科や国語などで有効

生活指導の工夫

・ 子ども相互の人間関係づくりを進める
取り組み

(休み時間 帰りの会 係 掲示物
行事 グループづくり 言葉遣い)

・ 教師と子どもの信頼関係づくりを進め
る取り組み

(児童理解 児童との関わり
カウンセリング ガイダンス)

・ 学級力向上プロジェクト

(学級力アンケート パワーアップタイム
パワーアップアクション)

一体として
進めていく

往還の
関係

《見取りの方法》

- ・ 教師の見取り (1学期→2学期→3学期それぞれの変化)
- ・ 子どものアンケート (各学期の学級力アンケート QU検査)